

施設
ピーマン

鹿屋市 末次 慎也さん(37歳) JA職員から農家へ
吾平地域のピーマン農家は若い世代が多く収益性も高いことから就農を決めた!

研修先 鹿屋市農政課担い手育成係(肝付吾平町農業協同組合ピーマン部会)
所在地及び連絡先 鹿屋市共栄町20番1号 電話:0994-31-1183(直通)

<研修作物>
ピーマン



<新規就農を志した経緯・背景>

- ・ JA職員として勤務していたが、地元ピーマン農家から承継しないかと誘いがあったことがきっかけとなり本気で就農について考えた。結局そこは承継できなかったが、中古ハウスが確保でき、ピーマン経営に興味があったことから転職することを決めた。
- ・ 地元ピーマン部会の仲間は、若い世代が多く収益性も高いことからピーマン農家となることを決めた。

支援策の活用例

- ・ 鹿屋市の農業研修資金として月額15万円を受給している。また、研修終了後は、就農開始時に一時金として50万円(1回のみ)を受給する予定。

これまで苦労した点

- ・ 施設栽培であることから、ハウス等施設や農地の確保に苦労した。

研修して良かった点

- ・ 体力は必要だが作物相手でストレスが少ない。
- ・ JAピーマン部会の農場で研修しているが、毎月の定例会や現地検討会等により多様な事例を見聞きすることができることから、適切な対応が確保でき技術の底上げが図られる。
- ・ 研修を経ずにいきなり就農した場合、生産リスクの可能性が高まることが想定されるため、研修生として学ぶことにより安心感が維持できている。

就農に向けた今後の目標 (現在)

- 【研修期間】(令和6年8月~令和7年6月)
- ・ 播種、苗づくり、定植、整枝(芽かき)等の栽培管理技術の習得。
 - ・ 施設暖房作業の準備(ダクト、煙突等の清掃)。
 - ・ IPM栽培、施設ICT(スマート農法)における操作管理技術等の習得。

【就農後】(令和7年7月~)

- ・ 中古ハウスの移設作業。
- ・ 当初は、労働力(3人)に見合った20~30a規模からスタートする予定。
- ・ 東串良町のJAピーマン出荷場へ出荷する予定。

就農を目指す方へのアドバイス

- ・ 農業をしたいという強い思いがあるのであれば、行政等に相談する等して具体的行動に移すこと。
- ・ 農業経営には、技術の習得が必要であることから、まずは農業研修を受けていただきたい。
- ・ 農業経営には、家族の理解が不可欠なことから家族の理解、合意の下で進めてほしい。